

第4回「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」会議報告

1 2020年度の主な取組状況について

構成機関・団体	取組の概要	実績等
全構成機関・団体	・「あいち就職氷河期世代応援宣言」及びプラットフォームにかかる事業を広く周知	・HP、会報誌等への掲載、メルマガの配信等
愛知労働局	・特設ページの開設 ・就職氷河期世代への正社員職業紹介 ・特定求職者雇用開発助成金、キャリアアップ助成金等各種助成金の支給 ・地域若者サポートステーションの取組強化	・正社員就職件数 3,637 件 ・助成金活用による正社員化 1,434 件 (12月末現在)
愛知県(労働局)	・「広報あいち」、SNSを活用した事業周知 ・民間事業者のノウハウを活用した就職支援講座を実施 ・合同企業説明会の開催	・就職支援講座修了者 94 名 うち就職者 6 名 ・合同企業説明会参加者(求職者) 146 名 (1月末現在)
(福祉局)	・市町村プラットフォームにおける好事例を収集 ・就労準備支援事業及び家計改善支援事業の町村域での実施及び未実施市に対する実施への働きかけ	・就労準備支援事業 20 名 ・家計改善支援事業 54 名 (1月末現在)
(保健医療局)	・県精神保健福祉センターに市町村支援員を配置 ・ひきこもり相談窓口の現状・課題等を把握するためヒアリングを実施 ・市町村の支援者を対象とした研修会の開催	・ヒアリング実施全 37 市 ・ひきこもり相談対応者研修会参加者 54 名 (12月末現在)
中部経済産業局	・企業向けセミナー及びマッチングイベントの開催	・セミナー参加企業 42 社 ・マッチングイベント参加者 求職者のべ 79 名、企業のべ 34 社 (2月15日現在)
一般社団法人 愛知県警備業協会	・厚生労働省の短期資格習得コース事業を実施	・施設警備業務 2 級取得者 7 名 (12月末現在)

2 2021年度の主な実施計画について

(1) 社会気運の醸成

- ・「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」会議の開催
- ・メディア、SNS、会報誌、コンビニ等あらゆるルートを通じた積極的な周知広報
- ・就職氷河期特設ホームページの活用及び充実
- ・就職氷河期世代の非正規雇用労働者に係る正社員転換の積極的な働きかけ

(2) 安定就職に向けた取組

- ・就職氷河期専門窓口の新規設置 (R3.2.16 ハローワーク一宮所)
- ・就労体験を通じて業種・職種に対する理解を深める職場実習事業の実施
- ・紹介予定派遣制度を活用した職場実習の実施
- ・基礎レベル以上の IT スキル保持者を対象とした雇用型訓練の実施
- ・オンラインでの相談対応業務やイベント

(3) 職業的自立の実現に向けた基盤整備に資する取組

- ・対象者の個別ニーズに対応した支援メニューを複数年度にまたがって一体的に実施
- ・地域若者サポートステーションによるオンライン相談支援
- ・地域若者サポートステーションを活用した心理カウンセリングの実施

(4) 社会参加の実現に向けた取組

- ・就労準備支援事業及び家計改善支援事業の未実施市に対する実施の働きかけ
- ・市町村支援員を中心とした市町村ひきこもり対策への支援、多職種専門チームによる専門的観点からの助言を実施
- ・市町村のひきこもり支援担当者等の研修、指導者養成研修の実施

3 意見交換発言概要

- ・就職氷河期「世代」は年度が上がれば、対象年齢も上がる。年度が変わったから支援が受けられなくなったというようなことがないようにしてほしい。(NPO 法人 ICDS)
- ・オンライン相談は(利用者の)交通費がかからない等のメリットがある一方、セキュリティの問題があり速効性に欠ける。(愛知労働局)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインの活用が言われている。親が高齢の場合、インターネットの操作などは、難しい。(特定非営利活動法人なでしこの会)
- ・取組や好事例を共有するなど密に連携を取りながら支援を行うことができるとよい。(愛知県副知事)
- ・就職氷河期世代の支援に関しては「未然防止的な取組」、「リモート型相談の強化、オンライン型の働き方の推進」、「よりそい型、スモールステップ型のきめ細やかな支援」を行っていくことが重要。(愛知労働局長)